第13回
日独エネルギー・環境フォーラム

EEDF

気候変動対策のための循環経済

2024年1月25日（木）–**26日**（金）
ステーションコンファレンス川崎（神奈川県川崎市）

主催：
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
ドイツ連邦環境・自然保護・原子力安全・消費者保護省（BMUV）
ドイツ連邦経済・気候保護省（BMWK）

「気候変動対策における
サーキュラーエコノミーの活用」

限りある資源を有効活用し、世界における温室効果ガス排出を抑えるためには、サーキュラーエコノミー（循環経済）の考え方が鍵となります。そこで、第13回日独エネルギー・環境フォーラム(EEDF)では循環経済に焦点を当てます。日独の専門家が、循環経済とカーボンニュートラルの関連について政治的枠組みを視野に入れながら議論し、両国における具体的な取り組みや優れた技術等紹介することを目的としています。

日独エネルギー・環境フォーラム(EEDF)は2007年の設立以降、両国の政界、産業界、学界のリーダーが、エネルギーや環境関連の主要問題について意見交換し、集中的に議論する場として発展してきました。

主催: NEDO / Federal Ministry for the Environment, Nature Conservation, Nuclear Safety and Consumer Protection / Federal Ministry for Economic Affairs and Climate Action

後援: METI Ministry of Economy, Trade and Industry / 環境省 Ministry of the Environment

運営: adelphi / ECOS

言語: 日独同時通訳

プログラム
2024年1月25日（木）

9:00 **オープニング**
司会者からのご挨拶

9:10 **主催者からのご挨拶**

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO） 理事長
斎藤 保

ドイツ連邦環境・自然保護・原子力安全・消費者保護省（BMUV） 次官 （ビデオ）
クリスティアーネ・ローレダー

ドイツ連邦経済・気候保護省（BMWK） 政務次官 （ビデオ）
シュテファン・ヴェンツェル

9:20 **セッション 1**
気候変動対策に向けたサーキュラーエコノミーの実践における政治戦略

モデレーター： NEDO欧州事務所 所長 **今里 和之**

気候変動対策のためのサーキュラーエコノミー
ドイツ連邦環境・自然保護・原子力安全・消費者保護省（BMUV）デジタル化、持続可能な消費・製品政策、資源保護部 部長
ボド・リンシャイト

Tamotsu Saito

Christiane Rohleder

Stefan Wenzel

Kazuyuki Imazato

Bodo Linscheidt

プログラム
2024年1月25日（木）

9:35 **エネルギー転換におけるサーキュラーエコノミー**
ドイツ連邦経済・気候保護省（BMWK） 二国間気候・エネルギー協力基本問題課 副課長
アントン・フーフナグル

9:50 **日本の循環経済戦略**
経済産業省 産業技術環境局 資源循環経済課 課長補佐
長崎 太祐

10:05 **循環経済への移行を国家戦略に**
環境省 環境再生・資源循環局 国際資源循環企画官
吉田 諭史

10:20 **パネルディスカッション：**
サーキュラーエコノミーと気候変動対策を促進する政治的役割

- ドイツ連邦環境・自然保護・原子力安全・消費者保護省（BMUV） **ボド・リンシャイト**
- ドイツ連邦経済・気候保護省（BMWK） **アントン・フーフナグル**
- 経済産業省 **長崎 太祐**
- 環境省 **吉田 諭史**

モデレーター： NEDO欧州事務所 所長 **今里 和之**

10:50 **休憩**

Anton Hufnagl

Daisuke Nagasaki

Satoshi Yoshida

11:10 **セッション2**

気候変動対策と循環経済の結びつき

限りある資源の非持続可能な使用と二酸化炭素の排出は密接に関連しています。サーキュラーエコノミーの概念に沿いながら、気候変動対策と資源保護が連携したシナリオ、システム分析、政策が喫緊に必要とされています。このセッションではドイツと日本の観点から、この関連性と業界の可能性について議論します。

インプット：「資源危機：成長から資源消費を切り離すために必要なこと」
ヴッパータール研究所　循環経済部　リサーチャー
フランチスカ・エルベ

11:20 **パネルディスカッション：**

気候変動対策と循環経済の関連性～日独の産業界や学識者を交えて～

- 公益財団法人　地球環境戦略研究機関（IGES）　**粟生木 千佳**
- アゴラインダストリー　**アイリン・ショウカット**
- ボッシュ株式会社　代表取締役社長　**クラウス・メーダー**
- TOPPAN 株式会社　生活・産業事業本部　SX 推進センター　SX 事業開発本部　サーキュラー推進部　部長　**藤井 崇**

モデレーター： ヴッパータール研究所　**フランチスカ・エルベ**

12:00 **昼休憩**

Franziska Erbe

Chika Aoki-Suzuki

Aylin Shawkat

Klaus Meder

Takashi Fujii

13:00 **セッション3**

エネルギー転換技術における循環経済の重要性

ソーラーパネルや風力タービン、蓄電池や水電解装置など「エネルギー転換」に関連する技術や部品は、その多くが希少な鉱物や資源を必要としています。こうした資源の使用を減らすため、今回のセッションでは、リサイクルや循環性を考慮したデザインなど、現在における技術開発や研究などの理解を深めることを目的としています。また、日独企業の優良事例や、資源の循環的な使用における産業界の視点も紹介します。

セッション3A: 循環経済とエネルギー転換における重要鉱物

モデレーターによる紹介：
カーボンニュートラルとサーキュラーエコノミーにとっての重要鉱物
三菱UFJリサーチ＆コンサルティング
政策研究事業本部　環境・エネルギーユニット　ユニット長
清水 孝太郎

13:15 **循環経済を通じて、いかに資源効率性を高めエネルギー転換を実現するか？**
FfEミュンヘン研究所　研究員
ソフィア・ハース

13:30 **クローズドループ・リサイクルによる車載LiBの再資源化**
JX金属株式会社　技術本部技術戦略部電池材料・リサイクル事業推進室　室長
佐藤 利秋

Kotaro Shimizu

Sofia Haas

Toshiaki Sato

プログラム
2024年1月25日（木）

13:45 **原材料の供給を確保するための国家都市鉱山戦略**
ドイツ連邦環境庁　資源保護、物質循環、鉱物・金属産業部門　研究員
フェリクス・ミュラー

14:00 **エネルギー転換のためのサーキュラーエコノミーと重要鉱物：日独の政策概要**
アデルフィ コンサルタント
キャロリン・グルーニング

14:15 **パネルディスカッション / 質疑応答**

14:55 **休憩**

15:15 **セッション3B: 再生可能エネルギー技術のための循環型アプローチ**

モデレーター：アデルフィ　シニアマネジャー　**ヤナ・ナリタ**

水電解装置によるアプローチ
ボッシュ株式会社　社長室アシスタントグループ　アシスタント
飯山 美子

15:30 **太陽光発電によるアプローチ**
株式会社新菱　サーキュラーエコノミー　事業部門長
橋口 正

Felix Müller

Carolin Grüning

Miko Iiyama

Tadashi Hashiguchi

プログラム
2024年1月25日（木）

15:45 **風力発電によるアプローチ**
シーメンス・ガメサ リニューアブルエナジー　洋上風力セールス
シニアビジネスディベロッパー
奈須 由美

16:00 **電気自動車（バッテリー）からのアプローチ**
日産自動車株式会社　企画・先行技術開発本部 技術企画部　課長
澤田 孝信

16:15 **パネルディスカッション / 質疑応答**

16:50 **1日目閉会　日独協力に向けた総括**
ドイツ連邦経済・気候保護省（BMWK）　**アントン・フーフナグル**

17:15 **個別テーブルでのネットワーキングとディスカッション**

18:00 **公式夕食会**

Yumi Nasu

Takanobu Sawada

プログラム
2024年1月26日（金）

9:15 **セッション4**

プラスチックの世界?リサイクル、再利用、代替素材のイノベーション

プラスチックの生産はここ数十年で飛躍的に増加し、膨大なエネルギーと資源を消費しています。本セッションでは、循環経済アプローチが、資源効率の向上と温室効果ガス排出量の削減にどのように貢献できるかを、循環型の設計や革新的なリサイクル技術、高機能バイオベース材料などの技術やプロジェクト例を用いて紹介します。

モデレーター によるご紹介:
ドイツ連邦環境・自然保護・原子力安全・消費者保護省 (BMUV)
海洋保護課 課長
アクセル・ボルヒマン

9:25 **持続可能なデザイン: GROHEはどう気候変動に取り組み、持続可能なライフスタイルを促進しているのか**
グローエジャパン株式会社　マーケティング部　部長
渾川 啓太

9:35 **マイクロ波によるケミカルリサイクル新技術**
マイクロ波化学株式会社　基盤研究部　部長
岩田 隆一

9:50 **日本におけるプラスチックカーボンニュートラルに対する取り組み**
福岡大学工学部化学システム工学科　教授
八尾 滋

10:05 **パネルディスカッション / 質疑応答**

Axel Borchmann

Keita Nigorikawa

Ryuichi Iwata

Shigeru Yao

10:35 **休憩**

10:55 **セッション 5**

循環経済の成功要因となるデジタル化とITソリューション

デジタル化はさまざまな形でサーキュラーエコノミーに貢献することが可能です。このセッションでは、工業生産や建築分野、農業などにおける、資源効率を高め、サーキュラーエコノミーのための、デジタル /IT/IoT/AI/ ブロックチェーンなどのプロジェクトや技術例を紹介します。

モデレーター によるご紹介：
ハリタ金属株式会社　代表取締役　**張田 真**

11:05 **ドイツの視点から見たデジタル化と循環経済**
ドイツ連邦環境・自然保護・原子力安全・消費者保護省 (BMUV) デジタル化、持続可能な消費・製品政策、資源保護部　部長
ボド・リンシャイト

11:10 **資源効率と循環経済を実現するデジタル技術**
VDI テクノロジーセンター　循環経済・資源効率技術コンサルタント
ウェイ・ミン・ワング

11:25 **窓、ドア、ファサードにおける脱炭素化と資源循環の実現に向けたデジタルの有効活用**
シューコー・ジャパン株式会社　社長
センチャイ・コエク

Makoto Harita

Wei Min Wang

Seng Chye Koek

プログラム
2024年1月26日（金）

11:35 **2025年大阪・関西万博ドイツパビリオンにおける循環型コンセプトの紹介**（ビデオ）
LAVA 建築研究所
クリスティヤン・チェアーシッヒ

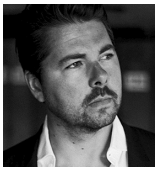
11:40 **ゼロカーボンビル推進会議によるホールライフカーボン算定ツールとデータベースの開発**
株式会社 日建設計　エンジニアリング部門　統括室長
丹羽 勝巳

11:50 **AIによる植物工場バリューチェーンの効率化**
株式会社ファームシップ　取締役
宇佐美 由久

12:05 **パネルディスカッション / 質疑応答**

12:35 **2日目閉会　日独協力に向けた総括**
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）　理事
飯村 亜紀子

12:45 **ネットワーキングランチと個別テーブルでのディスカッション**


Christian Tschersich

Katsumi Niwa

Yoshihisa Usami

Akiko Iimura

お問合せ

ECOS

Johanna Schilling
Westerbreite 7
49084 Osnabrück

T: +49 (541) 911-909 90
F: +49 (541) 911-909 99
E: jschilling@ecos.eu

adelphi

Jana Narita
Alt-Moabit 91
10559 Berlin

T: +49 (30) 89 000 68-361
F: +49 (30) 89 000 68-10
E: narita@adelphi.de

https://gj-eedf.org/ja

会場案内

ステーションコンファレンス川崎

〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町1番地5
カワサキデルタJR川崎タワー オフィス棟 3階

https://kawasaki.tstc.jp/access/